

光 彩 だ よ り

2017年 冬号(2017. 2. 1 発行)

★就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所 京都市朱雀工房

★就労継続支援B型事業所 西山高原工作所

★就労継続支援B型事業所 ワークステーションかれん工房

★京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

★グループホーム賀陽、グループホーム山ノ内、グループホーム光

★訪問介護ステーション 光彩

★府庁 ゆめこうば

★相談支援事業所「こうさい」

《発行》社会福祉法人 京都光彩の会(発行責任者/上村啓子)

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 京都市地域リハビリテーション推進センター 1F

TEL: 075-813-0501 FAX: 075-813-0520

E-mail: info@kyoto-kosainokai.jp URL: http://kyoto-kosainokai.jp/

利用者支援で何をめざすのか

社会福祉法人 京都光彩の会

理事長 加藤 博史

昨秋、法人の20周年では、関係者の皆様方のご支援のもと、心の通う温かい記念の集いを開くことができました。厚く御礼申し上げます。

年頭に当たり、改めて20年の歩みを振り返って、利用者支援に関する5つの道しるべを挙げてみたいと思います。

第1点は、利用者の《自尊心》を高めていく支援です。自尊心と自己効力感とは違います。後者が「できる・できない」の次元の目標なのに対して、自尊心とは、「自分が生きていることそのものをまるごと感謝し誇りを持つこと」です。障害のある人への低い評価など差別的価値観が社会にまだまだ残っており、それが知らず知らず、一人ひとりの精神内部に取り込まれていきます。「ダメな私」という自己卑下観です。これに対して、「私は私。この私はステキ」と胸を張れるよう、当事者としてのポジティブな語りを支援したいものです。そのためには、《セルフヘルプ・グループ》が鍵になることでしょう。職員の内なる差別観の自己覚知も不断に求められます。

第2点は、福祉思想の父・糸賀一雄が晩年に強調した《横の発達》の支援です。縦の発達が「できることの進展」であるのに対して、横の発達は「個性と共感の進展」です。ここでは周囲の人間関係の力が大きな役割を果たします。横の発達があって縦の発達が活きてきます。

第3点は、利用者の《市民的権利》の保障の推進です。①生活基盤(特に住環境、安定所得、ホッとできる関係)、②社会参加(特に文化活動・地域活動)に着目して、1年後の変化を共に確かめ合いたいものです。

第4点は、就労支援にあたり、《労働の質》の向上をめざすこと、および、就労支援の目的は、《生活の質》の向上にあることの確認です。就職することや工賃を上げることが自己目的化していないか、繰り返し点検する必要があります。

第5点は、《自然》のもつパワーの再評価です。季節がうつろい植物が育つ《自然のリズム》にふれ、朝日に光る雨上がりの緑の中を歩いて《自然環境》につつまれることが、メンタルヘルスにとって、とても重要なこととされています。著名な精神科医の神田橋條治は、「脳には自然治癒力があるが、心が脳に無理を強いることで脳がバランスを崩す」と指摘しています。

以上の5点は相互に関連します。一人ひとりの利用者と共に、以上述べた支援の働きを豊かにしていきたいものです。もちろん、職場と職員個々のメンタルヘルスがあつてのことです。

本年も皆様方のご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

法人設立 20 周年記念式典を 11 月 19 日に開催しました

社会福祉法人京都光彩の会は、平成 19 年 4 月 1 日に家族の願いを受けて京都市から京都市朱雀工場の運営を受託されたのが始まりです。11 月 19 日に創立 20 周年記念式典を隣の労働者会館「ラポール京都」の大ホールにて行いました。法人運営事業所利用メンバー、ご家族、行政機関や関係諸機関の皆様にご参加いただきました。



夜来からの雨も徐々に止み、お帰りの際には天候も回復していました。加藤理事長のあいさつ、京都府障害者支援課南課長、京都市障害保健福祉推進室斎藤室長のご祝辞やご来賓のご紹介のあと法人を支援してくださった京都ミレニアムライオンズクラブ、京都ビルメンテナンス協会、大明電業、西新道錦会商店街振興組合、グループホーム賀陽中東様、グループホーム光佐々木様、廣瀬幸二郎前常任理事への感謝状贈呈を行いました。そして事業所利用メンバーの発表、京都精神保健福祉推進家族会連合会会長でもある野地常任理事の挨拶で、第 1 部を閉めました。続いて、後援会会長の岡本同社大学名誉教授の乾杯の音頭により第二部の懇親会に移りました。お世話になっている方々からお言葉をいただき、合唱団グラアスのコーラスやグラアス団員のリードで会場一体となった合唱、上村統括施設長の感謝の言葉で終了しました。皆様のおかげで楽しく、こころ温かな 20 周年記念式典となりました。

利用者のニーズに添ったよりよい支援ができるようさらに歩んでいきたいと思います。



京 都 市 朱 雀 工 房

●近況報告

平成 29 年度 1 月現在の利用者数は、移行型が 10 名、B 型が 19 名の計 29 名となっております。就労移行型は利用者募集中です。

昨年の 10 月から年末にかけては、出店やボーナスキャンペーンの準備、法人 20 周年記念式典などの様々な行事が重なり、慌ただしく日々が過ぎ去りました。

昨年度より取り組んでいる授産製品のメガネケースの作成は軌道に乗り始め、ボーナスキャンペーンや出店などで徐々に売り上げをあげることが出来ています。

今年も工賃の向上に向けて、より良い製品の作成を目指し、みんなで頑張っていこうと思います。

メガネケース作成用の
生地を頂ける方を募っています

柄や色は問いません！

～是非、ご協力よろしくお願い致します～

問い合わせ 075-813-0501



●冬のボーナスキャンペーンのお礼

冬のボーナスキャンペーン売上 **196,620 円**

メガネケースを多数の方が購入して下さい、利用者、職員一同大喜び！

新商品もなかなかの売れ行きでした！

皆様ありがとうございました！



●法人 20 周年記念式典

式典にて、朱雀工房の紹介を 2 名の利用者の方にさせていただきました。

～2 人の感想をご紹介します～

光彩の会 20 周年おめでとうございます。

前での発表を引き受け、実際はすごく緊張しましたが、何とか言えて良かったです。

朱雀工房に大変お世話になり、あのような大切な場に参加し貴重な時間を過ごせました。

(T・H)

発表の前の日から緊張して眠れず、式典に来てからもしばらく休ませてもらい、途中から入りました。

発表では原稿ばかり見ている緊張してほとんど覚えていません。頭が飛んでいたけど終わって凄い安心しました。原稿は記念に大切にっています。

(Y・R)

●秋の大型レクリエーション

10 月 14 日にエキスポシティに行ってきました！

☆NIFREL(ニフレル)

☆Orbi Osaka(オービオオサカ)

の 2 班に分かれて、見学(*^▽^*)

～皆の感想～

・はしゃいで楽しかった。

・久しぶりに水族館に行った。生き物を近くに感じられた。観覧車も良かった。

・いい気分転換になった。 など…

皆さん楽しまれていました(^.^♪

西山高原工作所

一年間を振り返り、また新たな年へ…

毎年新たな気持ちで新年を迎えますが、同時に昨年のことを色々思い出します。その中には、良かったことがたくさんあります。それらは何か大きな取り組みというより、日々の活動の中や淡々とした繰り返しの中で、もっと深めていきたいという気持ちが共有され、「本当にうまくいったなあ」とか「一歩進んだなあ」などほっこりするような思い出としてです。

花見

4月にはお花見をしました。私たちはミニ行事と呼んでいます。日々の作業は納期もあってけっこう忙しく、桜もまたいつ咲くか分かりません。計画しても晴れるとは限りません。そんな中で「桜がキレイに咲いたね。」「いい天気。」「ぶらり嵐山の納品もしようよ。」という感じで即ミーティングをし、団子やお茶や敷物を持って嵐山の河原に行きました。簡単そうにみえて普段のミーティング力がなければできないものではありません。

画廊

田島先生の個展も今なら行けるということで寺町の画廊にお邪魔し、その流れで三条アーケードのハートプラザのお店も見学しました。

お食事会

そのちょっと後ですが7月末、岡崎散策、動物園、無鄰菴の庭園鑑賞とお茶会、そのあと三条の和食のお店でお食事会をしました。外での活動は私たちが普段からとても大切にしていることが凝縮されています。楽しい時間を過ごすことはもちろんですが、生産活動の場

だけではなかなか見えてこないニーズがあり、普段とは違った状況下で一緒に考え力をつけてもらう大事な時間になっています。例えば、お食事会では個人膳はなく大皿での料理が出てきます。歓談しながら自分の食べたいものを伝えたり、譲り合いをしたり、周囲との関係の中で美味しいものを頂きます。

大掃除

年の暮れにはメンバー主体の大掃除をしました。いつも通りミーティングに長い時間を割くわけですが、自発的に司会や書記が決まり、どんな部分を、誰と誰が、どんな方法でキレイにするのかが話し合われ、前年よりもはるかにキレイになりました。常に主体はメンバーです。終わった後も互いにねぎらいつつ振り返りを行い、充実した仕事納めとなりました。

一年のことを書けばきりがありませんが、これを読まれている方々にお伝えしたいのは、私たちがいつもどんな決まりにくいことでも時間をかけて話し合い、他者と関係を築く力を常に磨いていっているかということです。

2017 年もどうぞよろしくお願い致します

年が明けました。恒例の初会を開催し、お寿司とお煮で新しい年に向け抱負や夢を出し合いました。これからも私たちはひとりひとりが、強い力ではなく、ゆるやかな力を少しずつ出し合って無理のないまとまった力となり、どんなことにも挑んでいけたらと思います。人が過ごす場です。雰囲気になりにくくても大事だと考えています。私たちの西山高原工作所を今年も変わらずにお見守りいただけるよう心よりお願い申し上げます。

ワークステーションかれん工房

☆法人 20 周年を迎えて☆

社会福祉法人京都光彩の会の 20 周年記念式典が H28 年 11 月 19 日に行われました。各事業所より利用されているメンバーや職員から事業紹介があり、かれん工房からも K さんに紹介して頂きました。

また、昼食をオードブル形式で行いましたが、かれん工房では、ちらし寿司やフルーツの盛り合わせなどを作りました。

利用者の方も朝から職員と一緒に作って下さいました。好評の声を頂き大変ありがたいです。

今回の式典を経て法人 30 周年へ向けて活躍していけるよう職員・メンバー一丸となって頑張っていきたいと思います。

(竹島 祥威)



☆かれん工房 10 周年を迎えました☆

かれんもお陰様で 10 年を迎えました。

そこでささやかながら職員、メンバーとでパーティーを開催しました。バイキング形式の食事とビンゴゲームを行いました。お腹一杯食べてもらおうと沢山作り、皆お腹一杯になりました。

ビンゴゲームの景品も沢山用意しました。短い時間でしたが皆一様に楽しみました。今後、15 周年、20 周年が出来るようにかれん工房が続くようになればと思います。

(梅沢 信吾)

☆大阪城へ行きました!!☆

11 月 4 日に、1 日レクリーションで大阪城に行きました。

天守閣の見学の後、大阪城公園内でゆっくりすごすコースと、大阪歴史博物館で真田丸展を見に行くコースに分かれ、それぞれで昼食も含めて後半を過ごしました。

それぞれが工夫して楽しい 1 日でした。

早くも来年が楽しみです！！

(齊藤 夕子)

☆新しい利用者の方より☆

去年の 6 月からお世話になっております。

今までは病気で苦しんでおり、就職しても行っっては辞めの繰り返しだったので安定していませんでした。

今度こそはと思い『うきょう』さんから紹介してもらいました。

その期待を裏切らないように、長く勤めたいと思っています。よろしくお願い致します。

(N さん)

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

20 年を振り返る…

20 周年の記念行事にご参集頂き、誠にありがとうございました。少しの時間でしたが、限られたスライドにて、法人設立当時の様子から今日に至るまでの歩みについて、お話をさせて頂きました。

最初のスライドは、平成 9 年設立当時に開催された、全精社協の職員研修京都大会にて、加藤理事長が挨拶されている様子でした。この時も当時の作業所のメンバーの方々 40 名程に、合唱を披露頂いています。次には、平成 10 年の「精神障害と就労」をテーマとしたパネルディスカッションの様子です。平成 11 年地域生活支援センター 1 周年のパーティーの際にも、合唱団グラアスの先生の指揮の下で、メンバーの方に歌を披露して頂きました。

平成 12 年のなごやかサロンクリスマス会、平成 13 年の精神障害者グループホームをめぐる研修会、そして、地域福祉を考える会の方を交えての平成 14 年のなごやかサロン 5 周年の集い、平成 15 年の合唱団グラアスとの合同クリスマス会と紹介させて頂きました。

平成 16 年のお助け講座では、「いもきんとん」を作っています。所内では、当時の「こころの情報局」「映画上映会」「レクレーション」の案内が掲示されています。

平成 17 年のクリスマス会の際には、フルートなどの演奏をして頂き、スタッフとのジョイントの機会も得ることができました。あくまで後ろ姿での写真でしたが、みんなの目が一斉に注がれている姿が印象的で、温かくもあり、また重くも感じました。雨の日も雪の日も、少し背中をまるめながら通ってくれたことに改めて感謝したいと思います。

平成 21 年に福井県のボランティアグループの方が見学に来られた際の様子、平成 22 年のお助け講座では、厨房にて井を作っています。

平成 23 年から 24 年にかけては、相談とサロンとを明確に分けるという中で、これからのサロンこと、サロンのあり方について話し合いを重ねましたが、その時の様子が、ホワイトボードに記されています。

最後にお話させて頂いたのは、開設にあたって、職員会館かかがわにて、京都の家族会の集まりである京家連の役員の方々が並んでおられる中で、職員採用面接をお受けしたことについてです。一斉に注がれた視線を今でも忘れることができません。期待を込めたものであったと思いますが、にこやかににはされつつも、私にはとても厳しく重たいものがありました。それを思い浮かべると、今日まで果たして、どこまで取り組めたのだろうかという思いに駆られます。

当時、京家連の副会長をされていた京都つくし会の会長さんが、「職員はメンバーと泥だらけになって取り組んでほしい」と言われていたことが今でも思い出されます。一所懸命に取り組むという覚悟を問うておられたのだと思います。

困難なことに直面するたびに、そのことが思い起こされ、自分の未熟さに改めて気づかされます。

法人としてはまだまだ 20 歳の未来ある青年ではありますが、求められる役割を果たしていきたいと思えます。

よろしくお願い致します。

(藤井 弘)

グループホーム 賀陽 グループホーム 山ノ内 グループホーム 光

◆法人記念式典を終えて

法人の 20 周年記念にあたって、法人事業へ貢献された方に感謝状が贈呈され、グループホームでは、光にて設置から現在の運営にまでご尽力いただいている佐々木さんと、賀陽の開設当初から約 17 年間世話人として勤務して下さった中東さんに賞状が贈られました。

☆中東さんからコメントをいただきました。



高齢にも関わらず長い間働かせていただき、ありがとうございました。次々と起こった出来事も今はいいい思い出です。(中東)

◆発表！「グループホームあるある」

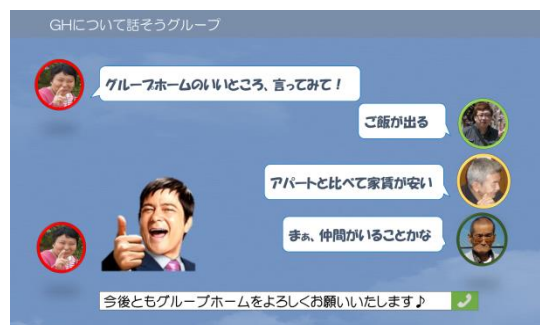
式典内の各事業所からの発表で、グループホームからは「グループホームあるある」と題して入居者の方や職員がグループホームの暮らしに感じる「あるある」を、SNS アプリ LINE のトーク画面風に発表しました。参考までに「あるある」の一例をご紹介します。

～グループホームあるある～

- ・朝は洗面所やトイレが混みあいがち。
- ・グループホームに入ると体重が増えがち。

・夕飯が魚の日は猫が喜ぶ。(残った食事を野良猫にあげる入居者がいるので。)

発表時、式典に参加された入居者の方にインタビューを行いました。「やっぱり食事が出るのありがたい」「家庭的な雰囲気がある」「たまには夕飯にお刺身が食べたい」など、様々なコメントをいただきました。今回の発表を通して、他の参加者の方にもグループホームの暮らしの様子が伝わっていれば幸いに思います。



◆京都市中部自立支援協議会グループホーム専門部会の報告

中京区自立支援協議会では、圏域の知的・身体・精神のグループホームを運営する事業所が集まって、支援者のスキルアップや入居者のより良い住まい作りを目的に専門部会を年に数回開催しています。

今年は簡易型スプリンクラーを開発した会社や有名住宅メーカーの方にも出席していただき、グループホームに関する喫緊の課題について学ぶことができました。

また東日本や熊本での震災や相模原市の入所施設で発生した事件から、防災や防犯についても検討する機会がありました。

これからもグループホームを巡る様々な課題について、皆で考えていきたいと思います。



訪問介護ステーション 光彩

平成 29 年は特定非営利活動法人ステップアップ設立 13 年目ですが、事業所開設としては 9 年目を迎える年となり、10 年一節と言われる一歩手前を迎える年となりました。

特定非営利活動という法人形態で、訪問介護という職種単体を主として活動し、9 年目を迎えることができたのは、応援して下さいの皆さまのおかげと深謝致します。

訪問介護という職種は、介護業界の数ある形態の中でも、運営が厳しい種類になります。厳しい点は大きく二つあり、一つは人材の定着率の低さにあります。

訪問介護は訪問介護員が地域に住む利用者様宅まで出向き、サービスを行います。実際の居宅での労働時間としては 2 時間程度が多く、短時間の仕事になります。沢山働きたい人は 1 日に数件まわることになり、移動の労力が生じます。この労力を考えると、長く沢山働きたい人は訪問介護ではなく施設介護などで働くことを選ばれます。

二つ目は資金力の問題ですが、訪問介護ではサービスを提供した時間のみにお金(加算)が支払われます。訪問介護員が家へ訪問するまでの移動時間には加算がつきませんが、しかし、移動も労働時間ですから、事業所は国からの加算はなくとも移動時間に対して賃金を支払う義務があり、加算のない部分での資金力が必要になりますので、加算がなくとも賃金が発生する部分が厳しいポイントになります。

訪問介護のみを運営する当事業所が 9 年目を迎えられる恩恵には、陰ながら、京都光彩の会の応援があり、他機関様、他事業所様、ご利用者様、賛助会員の皆様、関わって下さっている全ての皆さまの応援のおかげであります。本当にありがとうございます。

よくある話ですが「喜ばしいことなのに事業所的には両手をあげて喜べない話」の一つに、ピアヘルパーさんの就職の話があります。精神に障害を抱えながらも訪問介護員として実力をつけ、介護施設へ就職していく人がいます。とても喜ばしい話ですが、同時に残念な気持ちになります。うちの事業所が正規職員として雇えなかった残念さです。しかし、これから先もずっと、障害を抱えながらも訪問介護員として働きたい人の応援ができる事業所であり続けたいと思います。ますます多くの働きたい材を増やし、短時間労働がよい人と 8 時間労働がよい人が共に働きやすい環境となり、長く働いて頂けるよう、定着率のよい職場にしたいと思っています。

平成 29 年 4 月からは、介護保険において日常生活支援総合事業という新しい制度がスタートします。従来の要支援 1・2 がなくなり、この総合事業に移行されます。総合事業の概要は、有資格者だけでなく多様な担い手(ボランティアや高齢者の社会参加)を視野にいたした生活支援サービスをおこなうことですから、今までのある一定以上の介護力を求める状況から一変します。利用者様にとっても事業所にとっても戸惑うことが出てくる年かと存じます。移りゆく制度の中で、負けずに生き残るよう頑張っていきます。

皆様にはご指導ご鞭撻賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

管理者 山下理恵子

府 庁 ゆ め こ う ば

努力が実を結ぶ

府庁ゆめこうばでは、一人の従業員さんの就労が決まりました。

今年度から就職活動が始まり、さまざまな関係機関を活用しながら、面談、企業実習を経験され、併行してゆめこうばではチラシの作成業務やゆめこうばで出来るパソコン業務のプレゼンテーションまでしていただきました。

パソコン技術の高さを評価され、出勤最終日には、障害者支援課の職員の方々に惜しまれながらの最後の挨拶となっていました。

就職活動とゆめこうばでの日々の仕事の中で、障害と向き合う事や自分のやりたい事と出来る事との葛藤、自分の課題に積極的に向き合いながら、ご本人の希望される職種での就労でした。

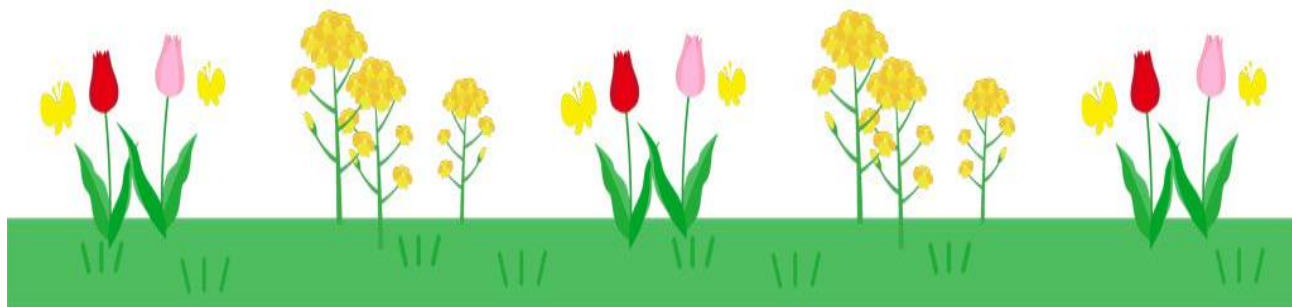
日々そういった姿を見ていたので、努力が実を結ぶとはこういう事なのだと教えていただいたように思います。

また、これまで支えてきて下さった前任のジョブパートナーと障害者支援課の担当者による京都府庁での周知活動が、大変な反響を呼び、さまざまな部署からの依頼がたくさん増え、忙しく過ごすことも多くなりました。

その中で、今いる従業員さんも意欲的に仕事に取り組まれることが増えました。

今後も、従業員の皆様のご期待に添えるよう、京都府庁のさまざまな部署から依頼をいただけるよう精一杯努力していきたいと思います。

ジョブパートナー 松永



法人からのお知らせ

ピアサポートの会＝OB 会を 開催しています

京都光彩の会が運営する事業所を利用した OB の方、委託職業訓練修了生を中心に、互いに近況や得意なこと、心配や気になること、聞いてみたいことなどを話しながら元気になることめざして 3 ヶ月に 1 回第 3 日曜日午後 1 時半から開催しています。

「自分と同じことで悩んでいる人がいることがわかった」、「参考になった」、「明日から元気でやっつけようと思う」、「楽しかった」等参加しての感想が寄せられています。

今回は 4 月 16 日(日)に京都市朱雀工房で開催します。ご案内が届いていない方も OB の方は参加可能です。どうぞご参加ください。

OA 関係の委託職業訓練修了生の 同窓会を開催

12 月 18 日に平成 20 年から開催してきた「IT 業務能力基礎科」、「OA 基礎科」、「OA 実践科」の同窓会を開催しました。経理や事務の仕事、DTP オペレーター(デザイナーが制作したデザインをもとにソフトを使って印刷用データを作成する仕事)などをされている方たちがお仕事や職場のこと、仕事を続けるうえでの苦労など話に花を咲かせていました。

OA 関係の委託職業訓練は平成 27 年度で終了し、今回は参加者が少なく、ピアサポートの会と合同開催しではという提案もありましたが、参加された方から少人数の方が話しやすいという意見もありました。しばらくこの形で続けていこうと思います。ご案内をさせていただきますので、是非ご参加ください。

「介護サービス科」同窓会は 3 月 19 日です

介護サービス科修了生の同窓会は 3 月 19 日午後 1 時半から開催します。ご案内を差し上げますので、お気軽にご参加ください。

ミレニアムライオンズクラブさま、 ご支援ありがとうございます

ミレニアムライオンズクラブは 2000 年に結成され、結成当初から精神障害のある人たちにご支援をくださっています。コンサートを開催したり、会員の方々と桂川清掃・バーベキューを行ったり、継続してご支援をいただいています。法人 20 周年記念式典にもご出席くださいました。

12 月 6 日に開催されたミレニアムライオンズクラブ 16 周年記念例会にご招待いただき、ご寄附を頂戴いたしました。ありがとうございました。

今後も交流を続けていけたらと願っています。

家族会からのお知らせ

「京のかれん」家族会は、京都光彩の会が運営している事業所を利用している、利用していたメンバーのご家族で構成しています。平成 9 年から家族相互の助け合いと精神保健福祉の向上のために活動を続けています。2 ヶ月に 1 回例会を開催しています。

11 月 19 日の光彩の会 20 周年記念式典に家族も参加し、メンバーの発表やグラスの合唱を楽しみ、一緒にお祝いをしました。12 月には忘年会の後、初の試みとしてカラオケ店にも行きました。

2 月 18 日は法人運営事業所を利用しているメンバーの活動報告を聞く例会となっています。お気軽にご参加ください。

相談支援事業所「こうさい」

28年11月より、当法人ワークステーションかれん工房所属の職員が相談支援専門員として新たに配置され、職員体制は管理者1名（相談支援専門員と兼務）、相談支援専門員3名の4名体制となりました。職員一丸となって利用者の方々をサポートしていきたいと思ひます。これからも宜しくお願いいたします。

求人情報

グループホーム

世話人さん・巡回アルバイトさんを募集しています。

・業務内容

世話人…主に平日の夕食提供。

巡回アルバイト…土・日・祝日の日中巡回（全3ホーム）

☆勤務日や時間については相談に応じます。

☆シルバー世代の方や学生さんの応募歓迎！

詳しくは支援センターなごやか（075-813-0503）

中條、田上宛にお電話ください。

社会福祉法人 京都光彩の会 後援会からお礼とお願い

平素は、社会福祉法人 京都光彩の会 後援会にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

後援会は、社会福祉法人光彩の会が運営する社会福祉事業の発展のためにご協力とご支援をいただくために設けた会です。

年会費は各年度毎、下記のようになっております。ご趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・個人会員 一口 3,000円
- ・団体・法人会員 一口10,000円

編集後記

法人創立20周年という節目を迎えました。記念式典への参加や「光彩だより」の編集を通じて、法人の歴史を振り返ることができました。改めて、様々な方々に支えていただいたおかげで、20周年という節目を迎えることができたと感じました。これからも初心を忘れず利用者・職員共に協力し、次の20年に向けて歩んでいきたいと思ひます。

